



2026年6月25日

各位

会社名 昭栄薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 佐一郎
(コード番号：3537 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役財務本部長 成瀬 幸次
電話番号 06-6262-2707

当社取締役会の実効性評価の結果の概要についてのお知らせ

当社は、コーポレート・ガバナンスの強化に向けた取組みとして、当社取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実効性評価の方法の概要

当社は、取締役会の実効性に関して、2026年3月期を評価対象期間として、全取締役（社外取締役を含む8名）を対象に4段階評価及び自由記述方式でアンケートを実施し、無記名方式で全員より回答を得ました。実施に当たっては、外部機関による助言を得た上で回答結果の集計、分析を実施し、その結果を基に取締役全員で討議し、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしました。

取締役会実効性の評価項目（全39問）

1. 取締役会の構成について（6問）
2. 取締役の運営について（8問）
3. 取締役会の議題について（14問）
4. 取締役会を支える体制について（6問）
5. 取締役会として株主との対話について（2問）
6. 取締役（監査等委員を含む）による自己評価（新設3問）

2. 評価結果の概要

(1) 評価結果

2026年3月期の取締役会につきましては、アンケート項目の過半数が、前年評価より上昇し、取締役会の構成、頻度、時間、討議内容（量・質）、意思決定プロセス等は概ね適切であり、取締役会の実効性は適切に確保されているものと評価いたしました。

(2) 前年度評価からの取り組み

- ① 2025年6月に開示した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の中で、売上高、ROE、PBRの中長期的な目標を設定・開示し、その実現に向けたキャッシュアロケーションと具体的な投資方針等を明確化しました。また、当該方針の実現に向けて、取締役会で継続的に議論を行いました。
- ② デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に向けて、基幹システム再構築に係るロードマップを策定しました。
- ③ サイバー攻撃や不正アクセス等へのセキュリティ対策として、外部診断の必要性を検討するとともに、セキュリティ教育等を通じて役職員の意識向上を図りました。

(3) 前年度評価から継続課題

取締役会の審議事項及び審議時間については、経営会議との役割分担を明確化し、より実質的かつ深度ある議論を行う必要があると認識いたしました。また、取締役会資料の更なる充実、及び十分な検討時間の確保についても、引き続き課題であると認識いたしました。

経営陣の報酬及びサクセッションプラン等のテーマについては、他社事例も参考にしながら、当社の規模や状況に見合った形を検討し、今後さらに審議を深めていく必要があると認識いたしました。

3. 今後の対応

今回の評価結果を踏まえて、引き続き課題改善に努めるとともに、取締役会は、今後とも、透明・公正な意思決定を行うべく、コーポレート・ガバナンスの強化と継続的改善に取り組むことにより、更なる企業価値向上に努めてまいります。

以上